



平成 27 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 日本和装ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉田重久
(コード番号：2499 東証第二部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 菅野泰弘
(TEL. 03-3216-0070)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 11 月 12 日に発表いたしました、平成 26 年 12 月期（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）の通期業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,800	100	20	△270	△29.99
今回発表予想 (B)	5,776	△294	△400	△503	△55.93
増減額 (B-A)	△24	△394	△420	△233	—
増減率 (%)	△0.4	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 12 月期)	6,056	508	434	236	26.23

<修正の理由>

前回発表予想に比べ、売上高は微減、損益面で大幅な減益となりました。その理由を記します。

平成26年12月期の第4四半期では、秋の「無料きもの着付教室」のカリキュラムに組み込んだ、受講生を対象とした販売機会（以下、セミナーという。）において、既報のように広告戦略が奏功しなかったことによる受講生数の減少に加えて、さらにセミナー1回当たりの取扱高が前回予想を下回りました。

また、既報のとおり、人材を含む経営資源を大都市圏に集中することを目的に、当事業年度末をもって営業拠点の統廃合を実施しました。これに伴い、廃止拠点における秋の教室では、受講生が年内で卒業できるようにカリキュラムを前倒したことにより、着付け講師の報酬等の諸経費が増加し、さらに一部の教室ではセミナーの中止が発生しました。

これらセミナーの不振を受け、業績予想値の確保を目的に、過去の教室の卒業生である会員様を対象とした販売機会（以下、イベントという。）を増加させました。イベント開催に伴い増加する諸経費を回収して利益を得る取扱高を目指して取り組みましたが、結果的に利益を確保するには及びませんでした。

あわせて、連結子会社である株式会社はかた匠工芸で、在庫商品の評価損を売上原価に計上する等により損失が増加し、連結業績に与える影響が前回予想を上回りました。

これらの結果、通期連結業績予想の下方修正をするものです。

※セミナーとイベントの違いについて

当社ビジネスモデルでは、セミナーにおける取扱高が計画通りに進捗することが、先行支出した広告宣伝費等の諸経費を回収して利益を得られる、理想の収益構造になります。一方でイベントは、会場費等の経費が増加することから収益性ではセミナーに劣るものの、短期間で取扱高が確保できる特性があります。

※売上高と取扱高について

当社の主たる事業は、着物や帯の販売仲介事業です。当社が広告宣伝費等を先行支出して「無料きもの着付教室」を開催し、その受講生や卒業生に対する販売機会を、着物や帯のメーカー・問屋等（加盟店という。）に提供することで発生する販売仲介手数料が、当社の主な売上高になります。販売仲介手数料は、加盟店と受講生・卒業生の間で成約した売買取引金額（取扱高という。）に対して定率で発生するものであり、加盟店の取扱高向上が、ひいては当社の売上高向上に繋がります。

（注）上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は今後の様々な要因の変化により、予想値と異なる結果となる可能性があります。なお、平成26年12月期決算短信の開示は、平成27年2月12日を予定しております。

2. 役員報酬の減額について

当社は、下記のとおり役員報酬の減額を実施しております。

代表取締役社長 吉田重久：平成26年11月より期間の定めなし、報酬月額の40%を減額
その他常勤取締役 4名：平成27年1月より期間の定めなし、報酬月額の10%を減額

3. 配当予想について

本件による、平成26年12月期の配当予想の修正はありません。

（ご参考）平成26年12月期の配当予想

	1株当たり配当金		
	第2四半期	期末	合計
当期実績	2円		
当期予想		3円	5円

以上